

## 保証書

保証期間中は正常な使用状態で故障した場合、保証書の規定により無償にて修理させていただきます。

- 修理は本保証書を提示し、お買い求めの販売店または弊社にお問い合わせください。
- 本保証書はお買い上げ日、販売店名の記入捺印のないものは無効となります。必ず記入事項の確認を行ってください。
- 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- 本製品は持込修理とさせていただきます。

お客様へのお願い  
お手数ですが住所、名前、電話番号をご記入ください。

販売店様へ  
購入日、貴店名、住所、電話番号を記入の上、本保証書をお客様にお渡しください。

保証書	
製品名 小電カトランシーバー TCV-01	製造番号
お客様	名前 <span style="float:right">様</span>
	住所・電話番号
保証期間 1年	購入日 年 月 日
※本保証書は捨てずに大切に保管してください。	
販売店名・住所・電話番号	

保証規定については30、31ページをご確認ください。

特定小電カトランシーバー

# TCV-01

## 取扱説明書兼保証書

このたびは、特定小電カトランシーバーTCV-01をお買い求めいただきましてありがとうございます。ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。  
また、お読みになった後は、大切に保管してください。



本製品の使用は、日本国内で行ってください。  
海外で使用することはできません。

必ず、裏面の保証書をご確認ください

株式会社 **エクスリ**

〒111-0053 東京都台東区浅草橋1-10-10 一誠ビル サポート用メールアドレス: [support@mco.co.jp](mailto:support@mco.co.jp)

※詳しくはホームページをご覧ください。 [www.mco.co.jp](http://www.mco.co.jp)

※記載の会社名、商品名等はその会社の登録商標または商標です。製品仕様は改良のため、予告無く変更する場合がございますので予めご了承ください。

## ご注意(必ずお守りください)

### 表示マークについて

お使いになる人やその他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

ご使用にあたり次の内容をよく理解していただくために表示マークと本文をよくお読みの上、正しくご使用ください。

■ 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



**警告**

人体が死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容。



**注意**

人体が障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



△マークは警告、注意を促す内容です。表示マークの後に具体的な内容を示しています。



○マークは、してはいけない(禁止)内容です。表示マークの後に具体的な内容を示しています。



●マークは必ず実行していただく(強制)内容です。表示マークの後に具体的な内容を表示しています。

● お客様または第三者が、本製品を誤った使用、使用中に生じた故障、不具合及び本製品によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められた場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。



**警告**

○ 本製品の使用にあたり、単四形アルカリ乾電池以外は、使用しないでください。発火、発熱、破損の原因になります。

## ご注意(必ずお守りください)

- 火中に投入、分解、改造はしないでください。
- 電池が液漏れを起こしたときには、使用をおやめください。
- 液が目に入ったときは、失明の恐れがありますので、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けてください。また、皮膚に付着した時は、きれいな水で洗い流してください。
- 運転中の使用は、絶対に行なわないでください。
- 医療機器や電子機器の近くでは使用しないでください。
- 航空機、空港内、電車の中では使用しないでください。
- 海外では使用しないでください。
- 本製品は直射日光を避けて風通しの良い状態で保管してください。
- 湿度の高い場所での使用はおやめください。また、本製品が雨水などにさらされないように注意してください。
- 落下などにより、破損したり正しく動作していないときは、使用しないでください。
- 使用中に煙が出た場合、直ちに使用をやめて電池をはずし、お買い求めいただきました販売店または弊社までご連絡ください。
- ▲ **注意**
- テレビ、ラジオ、ストーブ、電子レンジなどのそばで送信しないでください。
- 車内のダッシュボードの上など、高温になるところには置かないでください。
- アンテナは先端が細くなっています。誤って目にさしたりしないように注意して使用してください。
- 長時間使用しないときは、乾電池を本体からはずして保管してください。
- 本製品の汚れがひどい時は、水で薄めた中性洗剤を使用して、やわらかい布で軽く拭き取ってください。シンナーやベンジンは使用しないでください。
- 本製品の裏面に貼ってある、技術基準適合ラベルをはがさないでください。はがした状態では、電波を出すことができません。

## ご注意(必ずお守りください)

### 電波法に関する注意

- ※ 下記の内容は電波法により禁止されています。
- 本製品裏面の技術適合証明ラベルをはがしての使用。
- 本製品を分解、改造しての不正使用。
- 他人の通話を聞いてこれを人に漏らす行為。
- 航空機など使用を認められていないところでの使用。

上記内容を理解して、正しくご使用ください。

### 使用上のご注意

- 本製品は、特定小電力トランシーバー、9ch機、11ch機、20ch機のトランシーバーと通話することが可能です。現在お持ちのトランシーバーが、本製品と通話可能かご確認ください。また、グループモードが無いトランシーバーにおいては、本製品のグループモードは「OF」でご使用ください。また、中継モード付トランシーバーの場合、交互(シンプレックスモード)で通話することが可能です。
- 通話できる距離は環境により大きく変わります。目安として、見晴らしの良い郊外で1~2km、市街地で100m~200mです。建物などの障害により通話距離が大きく左右されます。
- 本製品はJIS保護等級4級(IP-X4)防まつ型相当ですが、完全防水にはなっていません。少々の雨の中でも使用することは可能ですが、なるべく雨の日や、水がかかるようなところでの使用は本体がぬれないように注意してご使用ください。  
テレビ、ラジオ、パソコン、蛍光灯のすぐそばでは、電波障害を与えたり、受けたりすることがありますので、これらの物から離れて使用してください。

## 通話チャンネルについて

現在、本製品以外のトランシーバーをお持ちの場合、通話チャンネルを合わせることで本製品と通話することが可能です。

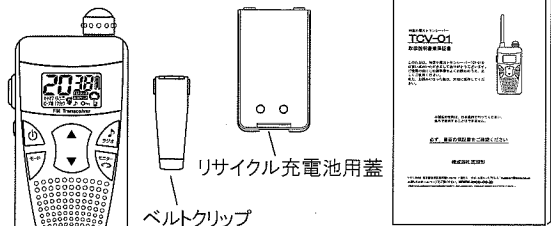
### 【通話チャンネル適合表】

TCV-01	他表示タイプ20ch.機	9ch.機	11ch.機
ch. 1	ch. 1		ch. 1
ch. 2	ch. 2		ch. 2
ch. 3	ch. 3		ch. 3
ch. 4	ch. 4		ch. 4
ch. 5	ch. 5		ch. 5
ch. 6	ch. 6		ch. 6
ch. 7	ch. 7		ch. 7
ch. 8	ch. 8		ch. 8
ch. 9	ch. 9		ch. 9
ch. 10	ch. 10		ch. 10
ch. 11	ch. 11		ch. 11
ch. 12	ch. h1	ch. 1	
ch. 13	ch. h2	ch. 2	
ch. 14	ch. h3	ch. 3	
ch. 15	ch. h4	ch. 4	
ch. 16	ch. h5	ch. 5	
ch. 17	ch. h6	ch. 6	
ch. 18	ch. h7	ch. 7	
ch. 19	ch. h8	ch. 8	
ch. 20	ch. h9	ch. 9	

※ 使用する他社のトランシーバーにより通話状態が良くないことがあります。

## ご使用の前に

付属品を確認する。



本体(乾電池ケース装着済み)

リサイクル充電池用蓋

ベルトクリップ

取扱説明書兼保証書

※リサイクル充電池用蓋はオプションに使用しますので忘れずに保管してください。

使用する電池

単四形アルカリ乾電池 3本 (別売)

使用時間の目安

種類	使用時間
アルカリ乾電池	約36時間

※使用状態、送信5秒、受信5秒、待ち受け90秒を繰り返したときアルカリ乾電池の、製造メーカーにより、使用時間が大幅に異なることがあります。

※市販の単四形充電電池は使用しないでください。

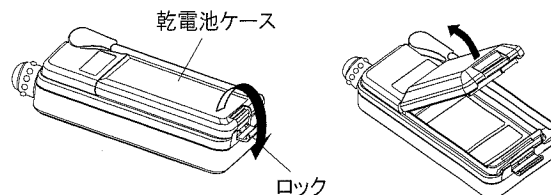
※不要になった電池は、廃棄しないでリサイクル協力店にお持ちください。リサイクルにご協力ください。

## ご使用の前に(電池の入れ方)

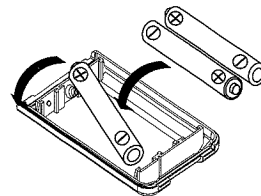
## 電池の入れ方

単四形アルカリ乾電池を3本入れます。  
電池の挿入、交換はベルトクリップを外した状態で行ってください。

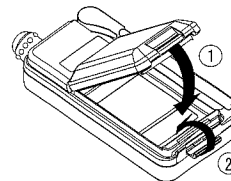
1、本体下部のロックを外し、乾電池ケースを外します。



2、乾電池ケースの「+」・「-」マークに従って装着する向きを間違えの無いようにアルカリ乾電池を入れます。



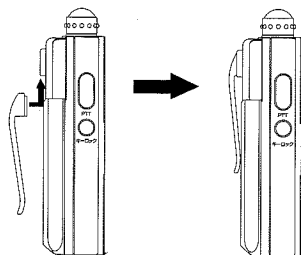
3、乾電池ケース上部のツメを本体の穴に入れ、ケースを閉めて、ロックします。



## ご使用前に(ベルトクリップの着脱)

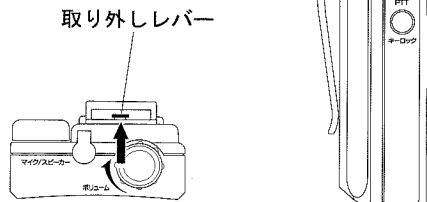
### ベルトクリップの取り付け方

本体のガイドに合わせてベルトクリップを取り付けます。  
上部にスライドさせて「カチッ」と音がしたらロックされます。



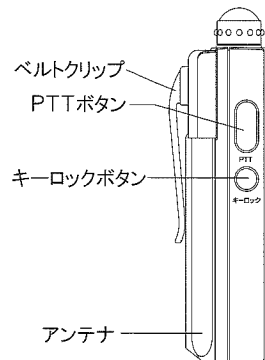
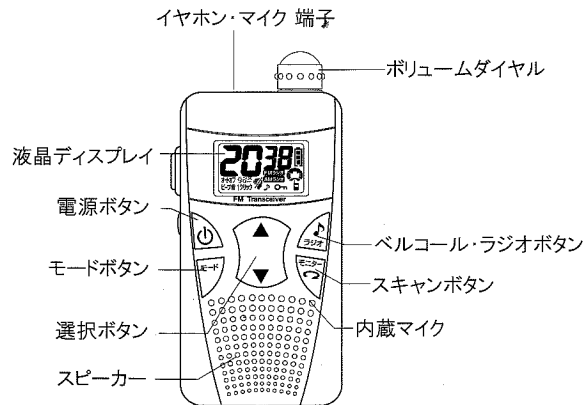
### ベルトクリップの外し方

取り外しレバーを押しながら  
ベルトクリップを下方方向にス  
ライドさせて外します。

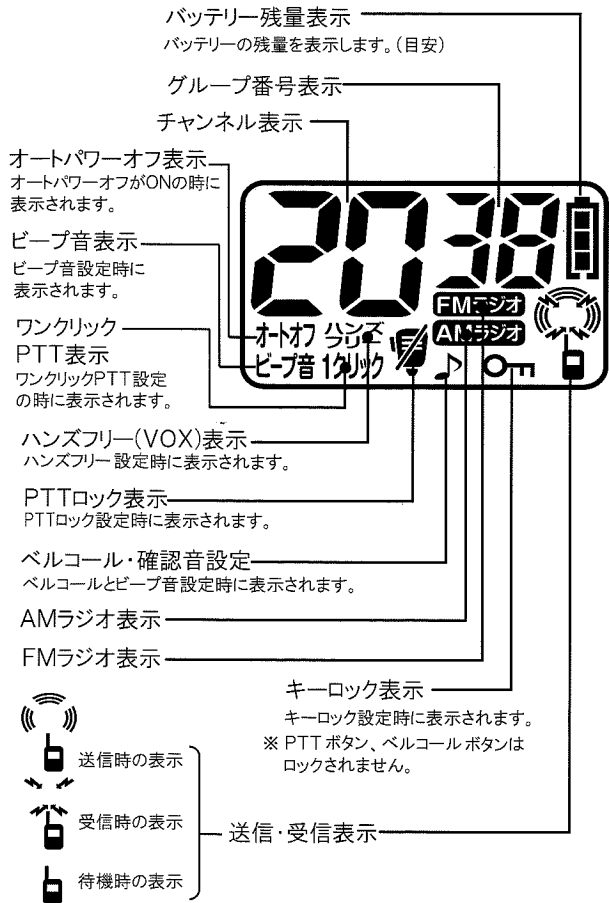


## 各部の名称

### 本体



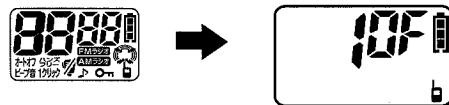
## 液晶ディスプレイ表示



## 通話をする(電源の入れ方・ボリューム調整)

## 電源の入れ方

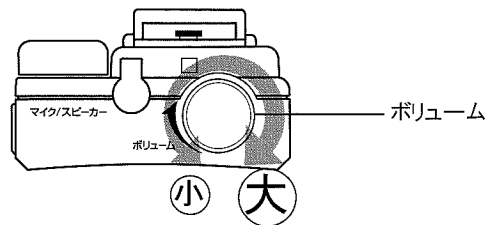
- 1、電源ボタンを3秒以上押します。  
電源が入り、液晶ディスプレイに表示が出ます。



- 2、電源を切るときには、電源ボタンを2秒以上押します。

## ボリューム調整

ボリュームを右に回すと音が大きくなり、左に回すと音が小さくなります。



## チャンネルを選択する

### チャンネルを選ぶ

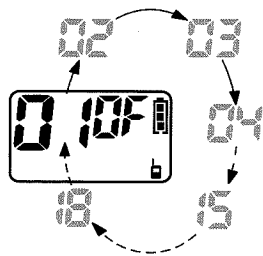
1. 選択ボタンで1～20chの希望のチャンネルを選択してください。
  2. 選択ボタンを2秒以上長押しすると、チャンネルが早送りされます。
- 通話したい相手と同じチャンネルに合わせてください。
  - 設定したチャンネルを他の人が使用している場合は、別のチャンネルを選択してください。

### Point!

#### ■チャンネルスキャン機能

本製品は通話をしているチャンネルを自動的に探すことができます。

1. スキャンボタンを押すとチャンネルの数字が動き、通話しているチャンネルを見つけると自動的に止まります。
2. チャンネル表示が点滅している間にPTTボタンを1回押すと、表示しているチャンネルに設定されます。

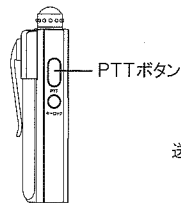


※スキャンを停止するときには再度スキャンボタンを押してください。スキャンを開始した時のチャンネルに戻ります。

## 通話をする (通話方法)

### 通話方法

1. PTTボタンを押すと、送信状態になります。  
口をマイクから5cmくらい離して通話してください。



送信中の液晶ディスプレイ表示



2. PTTボタンから手を離すと待機状態になります。

待機中の液晶ディスプレイ表示



3. 相手から電波を受信すると受信状態になります。

受信中の液晶ディスプレイ表示



### Point!

#### ■通話が途切れて聞こえるときは…… (モニターを使う)

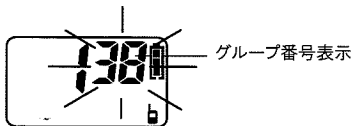
通常受信できない弱い電波を受信するときには、スキャン(モニター)ボタンを長押しし続けてください。押し続けている間は弱い電波を受信することができます。相手の通話が途切れて聞こえるときに有効です。音声を受信できないときは、モニター中は「ザー」という雑音聞こえます。

## グループモードで通話する

## グループモード機能

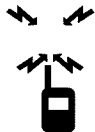
同じチャンネルを他のグループと同時に使用する場合、他のグループの通話が聞こえてしまいますが、グループモードを使用することにより、同じグループでのみ通話することができます。

- 1、モードボタンを1回押して、グループ番号表示を点滅させます。
- 2、選択ボタンで「1」～「38」の希望のグループを選択してください。「OF」表示は、グループモードを使用しない状態です。



- 3、PTTボタンを1回押すと、表示しているグループが決定されます。また、モードボタンを押しても決定されます。

- 同じチャンネルを別の相手が使用しているとき、グループ番号が違ってれば音声を受信することはできません。しかし別の相手が同じチャンネルで送信をしている場合は、PTTボタンを押しても「ピッピッ」音が鳴り、送信することができません。そのときは受信表示を確認して、待機状態になってから送信してください。



受信中の表示  
(送信できません)



待機中の表示  
(送信できます)

## ベルコールで呼び出す

## ベルコール機能

通話の前に呼び出し音で相手に知らせます。複数で通話するとき、呼び出し音をそれぞれ変えておけば、音で誰が呼び出しているかが分かります。

- 1、ベルコール・ラジオボタンを押すとディスプレイに送信表示され、呼び出し音が送信されます。送信された呼び出し音を、受信した相手が聞いて呼び出し音より誰が送信したかを確認することができます。



## 呼び出し音の選択

8種類の呼び出し音から好きな音を設定できます。

- 1、モードボタンを2回押すとベルコール表示が点灯して、チャンネルに「CA」が表示しグループに数字が表示されます。



ベルコール表示

- 2、選択ボタンで呼び出し音を選択してください。
- 3、お好みの音が決まりましたら、PTTボタンを押して決定します。

- ※ チャンネル表示が点滅中、約10秒間選択ボタンを押さないと、自動的に点滅中のチャンネルに設定されます。



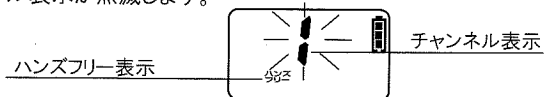
## ハンズフリー機能(VOX機能)

PTTボタンを押さずにマイクに話すだけで、自動的に送信することができます。話が終わると待受状態に戻ります。

### Point!

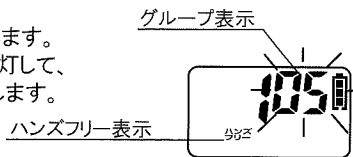
ハンズフリーで通話する場合、第一声をマイクで認識後、送信するまでに若干の時間を要します。(その場合相手に第一声の最初の部分が伝わりません。第一声を長めに言うことでスムーズな通信ができます。)

- 1、モードボタンを3回押します。ハンズフリー表示が点灯して、チャンネル表示が点滅します。



- 2、選択ボタンで音の感度を設定します。「3」でより小さな音に反応し、「1」でより大きな音に反応します。ハンズフリー機能を使用しないときは「OF」を選択してください。
- 3、PTTボタンを押して感度を決定します。

- 4、話が途切れても一定時間送信を続けられるように待受までの時間を設定します。  
モードボタンを4回押します。  
ハンズフリー表示が点灯して、グループ表示が点滅します。

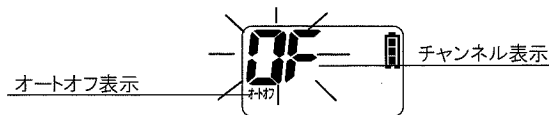


- 5、選択ボタンで「05」(0.5秒)~「10」(1秒)~「20」(2秒)~「30」(3秒)に切り替わります。お好みの時間を設定します。
- 6、PTTボタンを押して時間を決定します。

## オートパワーオフ機能(オートオフ)

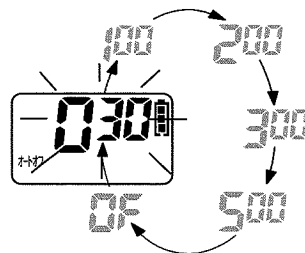
設定した時間内に受信状態にならず、また操作を行わなかった場合、本体の電源を自動的に切ります。これにより電源の切り忘れの心配がありません。

- 1、モードボタンを5回押します。オートオフ(オートパワーオフ)表示が点灯してチャンネル表示が点滅します。

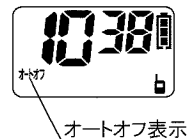


- 2、選択ボタンで電源が切れるまでの時間(30分~5時間)を設定します。

- 表示と時間  
030(30分)  
100(1時間)  
200(2時間)  
300(3時間)  
500(5時間)  
OF(設定しない)



- 3、PTTボタンを押して時間を決定します。  
設定されるとオートオフが表示されます。



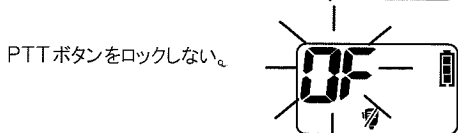
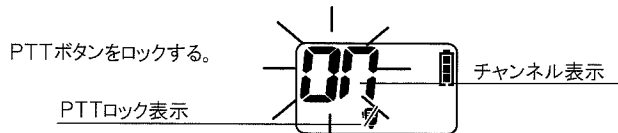
- ※ オートオフで電源が切れた後、再度使用する場合は、電源ボタンを3秒以上押してください。

## 送信できないようにする

### PTTロック機能

PTTボタンをロックすることにより、本体を受信専用として使用することができます。

- 1、モードボタンを6回押します。PTTロック表示が点灯して、チャンネル表示が点滅します。
- 2、選択ボタンで、「ON」(PTTボタンをロックする)、「OF」(PTTボタンをロックしない)の設定をします。



- 3、PTTボタンを押して「ON」「OF」を決定します。

- 4、「ON」に設定した場合 PTTロック表示が点灯して、PTTボタンを押しても、送信されません。PTTボタンを押した場合エラー音で知らせます。



#### Point!

PTTロック時は、ベルコール(17ページ)での送信もできません。

#### ⚠注意

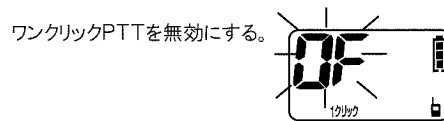
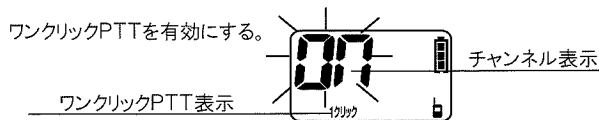
ハンズフリー機能設定を有効にした状態では、PTTロック機能を使用することができません。

## ワンタッチで送信と受信を切り替える

### ワンクリックPTT機能

PTTボタンを1回押すと、送信状態になり、さらにもう1回押すと待受状態に戻ります。通話をしているとき 常にPTTボタンを押し続ける必要がありません。

- 1、モードボタンを7回押します。ワンクリック表示が点灯してチャンネル表示が点滅します。
- 2、選択ボタンで、「ON」(ワンクリックPTTを有効にする)、「OF」(ワンクリックPTTを無効にする)の設定をします。



- 3、PTTボタンを押して「ON」「OF」を決定します。

#### Point!

PTTボタンを押して送信状態になってもある一定の時間が過ぎると、自動的に待受状態になります。

これは、1回の連続通話時間が法律で定められているためです。

通話の仕方にもよりますが、通話開始から約3分で一度待受状態に戻るよう設定されています。



## 確認音(ビーブ音)の設定

ビーブ音を設定した場合、PTTボタンをはなしたとき、送信状態が終了したことを相手に知らせる確認音を送信します。

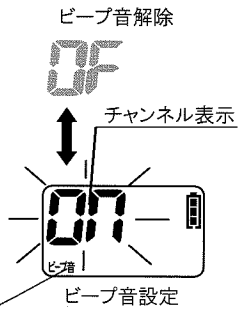
### 1、モードボタンを8回押します。

ビーブ音表示が点灯して、チャンネル表示が点滅します。

選択ボタンで、「ON」(確認音を設定する)、「OF」(確認音を解除する)の設定をします。

### 2、PTTボタンを押して決定します。

3、確認音を鳴らすときは、液晶ディスプレイの、ビーブ音表示が点灯していることを確認してください。



## 誤った操作を防止する

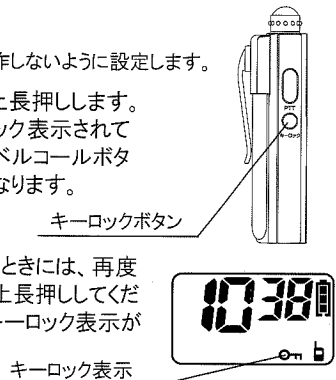
### キーロック機能

使用中に誤った操作をしても動作しないように設定します。

### 1、キーロックボタンを3秒以上長押しします。

液晶ディスプレイにキーロック表示されてPTTボタン、電源ボタン、ベルコールボタン以外の操作は、無効になります。

2、キーロック機能を解除するときには、再度キーロックボタンを、3秒以上長押ししてください。液晶ディスプレイのキーロック表示が消えて、解除されます。



## 初期設定に戻す(オールリセット)

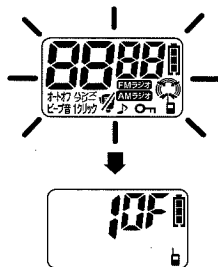
本製品の動作が不安定な状態や誤動作を起こしたとき、またディスプレイの表示に異常が生じたときに、お買い上げ時の状態に戻します。

※このとき、お客様が設定した状態はすべて消去されますのでご注意ください。

1、電源が入った状態で、モードボタンと電源ボタンを同時に長押しして、電源を切ります。

2、再度電源ボタンを3秒以上押します。

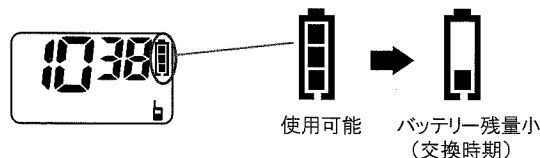
3、初期状態に戻りました。



## バッテリーの残量を見る

バッテリー表示の3本のバーが、すべて点灯している状態であれば、問題なく使用することができます。バッテリーの残量が少なくなってくると、点灯するバーの数が少なくなります。その際はバッテリー残量に注意してご使用いただき、新しい乾電池に交換してください。

※表示バーは、目安にしてください。



## ラジオを聴く(FMラジオモード)

- 1、ベルコール・ラジオボタンを3秒以上長押しすると、FMラジオ表示が点灯して、ラジオモードになります。  
FMラジオの場合、チャンネル表示とグループ番号表示に周波数が表示されます。



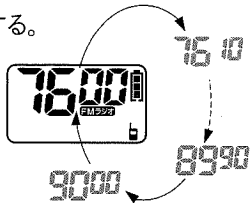
- 2、選択ボタンで、お好みの放送局の周波数に合わせてください。  
選択できる周波数は、76.0MHz(7600で表示します)から90.0MHz(9000で表示します)までです。

### Point!

#### ■FMラジオの周波数を早送りする。

FMラジオモードの時、選択ボタンを長押ししている間、周波数は早送りされます。

お好みの周波数の近くになりましたらボタンから手を放して、再度ボタン操作で周波数を合わせてください。

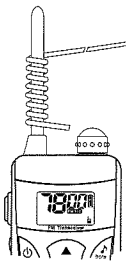


### Point!

#### ■受信感度が悪い場合

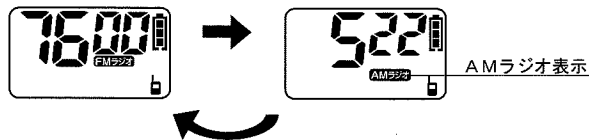
※ FMラジオ用アンテナは、トランシーバー用のアンテナを使用しております。アンテナが短く、近くの放送局であれば良好に受信することは可能ですが、離れた放送局を受信するときには1m程度のビニール線をアンテナに巻きつけると受信感度は向上します。オプションのイヤホンマイクなどをご使用の場合、ケーブルをアンテナに巻きつける事により改善される場合があります。

※ トランシーバーモードで使用の場合、巻きつけたビニール線等は、はずしてご使用ください。



## ラジオを聴く(AMラジオモード)

- 1、FMラジオモードに設定後、ベルコール・ラジオボタンを再度押すとAMラジオ表示が点灯して、AMラジオモードに変わります。  
FMラジオモードに戻るときは、再度ベルコール・ラジオボタンを、押してください。



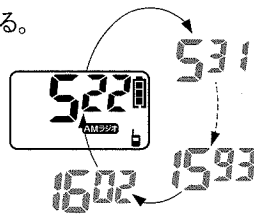
- 2、選択ボタンで、お好みの放送局の周波数に合わせてください。  
選択できる周波数は、522KHz(522で表示します)から1602MHz(1602で表示します)までです。

### Point!

#### ■AMラジオの周波数を早送りする。

AMラジオモードの時、選択ボタンを長押ししている間、周波数は早送りされます。

お好みの周波数の近くになりましたらボタンから手を放して、再度ボタン操作で周波数を合わせてください。



### Point!

#### ■受信感度が悪い場合

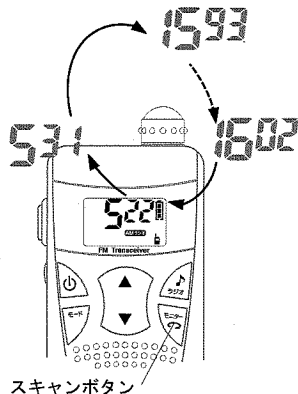
※ AMラジオ用アンテナは、トランシーバー本体内部に内蔵されております。受信感度が悪い場合、本体を移動させるか、向きを傾ける事により改善される場合があります。

## 自動的に放送局を選択する（スキャン機能）

ラジオモードの時にスキャンボタンを押すと周波数表示が早送りされて、自動的に受信できる放送局を探し、自動的に止まります。さらに違う放送局を探すときは、再びスキャンボタンを押してください。再度スキャンを開始します。

※ 受信できる放送局がないときやスキャンを終了するとき、再度スキャンボタンを押すと終了します。

※ 受信できる放送局があっても受信状態により停止しないこともあります。故障ではありません。また、周りの環境でノイズが発生している場合、放送局の電波ではない時にも、スキャンが停止する場合があります。

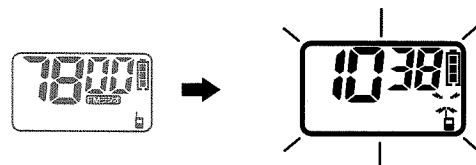


## トランシーバーモードに切り替える

ラジオモードのときPTTボタンを押すとトランシーバーモードに切り替わります。そのとき、ラジオモードに切り替える前のチャンネル、グループモードなどの設定が表示されます。

## 便利な使い方

トランシーバーモードで、チャンネルやグループを設定後、ラジオモードに切り替えた場合、ラジオを聴いている時に相手から電波を受信すると、自動的にトランシーバーモードに切り替わります。相手が送信した電波を聞き逃すことはありません。



再度ラジオモードにする場合は、ベルコール・ラジオボタンを3秒以上長押しして、ラジオモードにしてください。

### ▲ 注意

ラジオモードのときはキーロック機能を使用することができません。

## 故障かな?と思ったら

もしも不具合が生じた場合、修理を依頼される前に下記の表を確認してください。該当する症状が無い場合、オールリセット(23ページ)をお試しください。

症状	原因	対処	ページ
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●乾電池が入っていない</li> <li>●乾電池が消耗している</li> <li>●乾電池の向きが違う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●乾電池を入れる</li> <li>●乾電池を交換する</li> <li>●+-を確認して入れなおす。</li> </ul>	9 10
通話できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●チャンネル、グループ番号が違う</li> <li>●距離が遠すぎる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●チャンネル、グループ番号を合わせる</li> <li>●通話可能な距離で使用する</li> </ul>	15 16 6
送信できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●が点灯している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●が消えるのを待つ</li> </ul>	14
キーを押しても動作しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●キーロックが設定されている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●キーロックを解除する</li> </ul>	22
受信できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●PTTボタンが押された状態である</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●PTTボタンをはなす</li> <li>●ワンクリックPTTボタンを解除する</li> </ul>	14
聞き取れない音が入る	<ul style="list-style-type: none"> <li>●同じチャンネルで違うグループ番号で使用している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●チャンネルを変える</li> </ul>	15

## 仕様

送・受信周波数 .....422.050 ~ 422.300MHz(12.5KHz ステップ)

電波形式 .....F3E

送信出力 .....10mW

受信感度 .....-14dB $\mu$  以下 (12dB SINAD)

受信方式 ..... ダブルスーパーヘテロダイン方式

電源電圧 .....DC3.6 ~ 4.5V(単四形アルカリ乾電池 3本)

消費電流 ..... 受信待ち受け時 約50mA  
 受信最大時 約140mA  
 送信時 約70mA

使用温度範囲 .....-10 ~ +50°C

寸法 ..... 幅46x高さ90x奥行27mm(突起物含まず)

重量 ..... 約115g(単四形アルカリ乾電池装備時)

## 保証書

- 本取扱説明書の最終ページに保証書を添付しています。保証書は必ず「お名前、ご住所、購入日、販売店名」などを記入、ご確認の上販売店より受けとってください。

本書の内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

修理を依頼される前に、「故障かな?と思ったら」(28ページ)を参照いただき、解決されないようでしたら、本製品の電源を切り、お買い求めの販売店または、弊社にお問い合わせください。

修理に出す前にお客様が設定したデータが削除される場合があります。予めご了承ください。

本製品の不具合から通話不能などにより発生した損害、被害につきましては弊社は一切の責任を負いませんので、ご了承ください。

正常な使用で故障した場合、保証書の規定に従い、お買い求めの販売店または弊社にて、修理させていただきます。その際は必ず保証書をご提示ください。

保証期間が過ぎましたら、お客様の希望により有償にて修理いたします。お買い求めの販売店または弊社までご相談ください。

## 無償保証規定

- (1)保証期間中、万一品質及び製造上の不備により故障が発生した場合には、弊社製品に対し、責任を持って無償修理いたします。
- (2)次の場合には保証期間内でも有償修理となります。
  - ・保証書にご購入年月日が記入されていない場合
  - ・ご購入を証明できるもの(レシート等)をご提示いただけない場合
  - ・火災、地震、水害等天変地変や異常電圧による故障の場合
  - ・水没、水や飲料水等を製品にかけた事による故障の場合
  - ・製品の落下、破損などによる故障の場合
- (3)次の場合には保証期間内でも修理を受けかねます。
  - ・ご提示いただいた保証書が模造、修正された疑いのある場合
  - ・シリアルNo.に偽造、剥離が認められた場合
  - ・本体に不正な改造や分解の疑いがある場合

- (4)本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害について当社は責任を負わないものとします。
- (5)本製品の使用によるデータ、プログラム等の消失、または破損についての保証はいたしかねます。
- (6)本製品は医療機器、原子力施設や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器、システムなどへの組み込みは想定されていません。これらの用途にご使用になられ、人身事故や社会的障害などが生じても当社はいかなる場合でも責任を負いかねます。
- (7)保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- (8)保証は、日本国内においてのみ有効です。  
(This warranty is valid only in Japan.)

※この保証は本書に明記した期間、条件において無償修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので保証期間終了後の修理などについて、不明な点はお買い求めの販売店もしくは弊社までお問い合わせください。

## 株式会社ミヨシ

〒111-0053 東京都台東区浅草橋1-10-10 一誠ビル

サポートダイヤル:03-5825-7851

受付時間 平日9:00~12:00、13:00~17:30(土日祭日を除く)

サポート用メールアドレス: [support@mco.co.jp](mailto:support@mco.co.jp)

※詳しくはホームページをご覧ください。 [www.mco.co.jp](http://www.mco.co.jp)

※記載の会社名、商品名等はその会社の登録商標または商標です。

製品仕様は改良のため、予告無く変更する場合がございますので予めご了承ください。